

2026年5月14日

各 位

会社名	株式会社河合楽器製作所		
代表者名	代表取締役社長 執行役員 河合 健太郎 (コード番号 7952 東証プライム)		
	執行役員		
問合せ先	コーポレート戦略本部	飯塚 章浩 経営戦略部長	
電話番号	053-457-1227		

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応につきまして、現状の課題と対策、今後の計画について決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以上

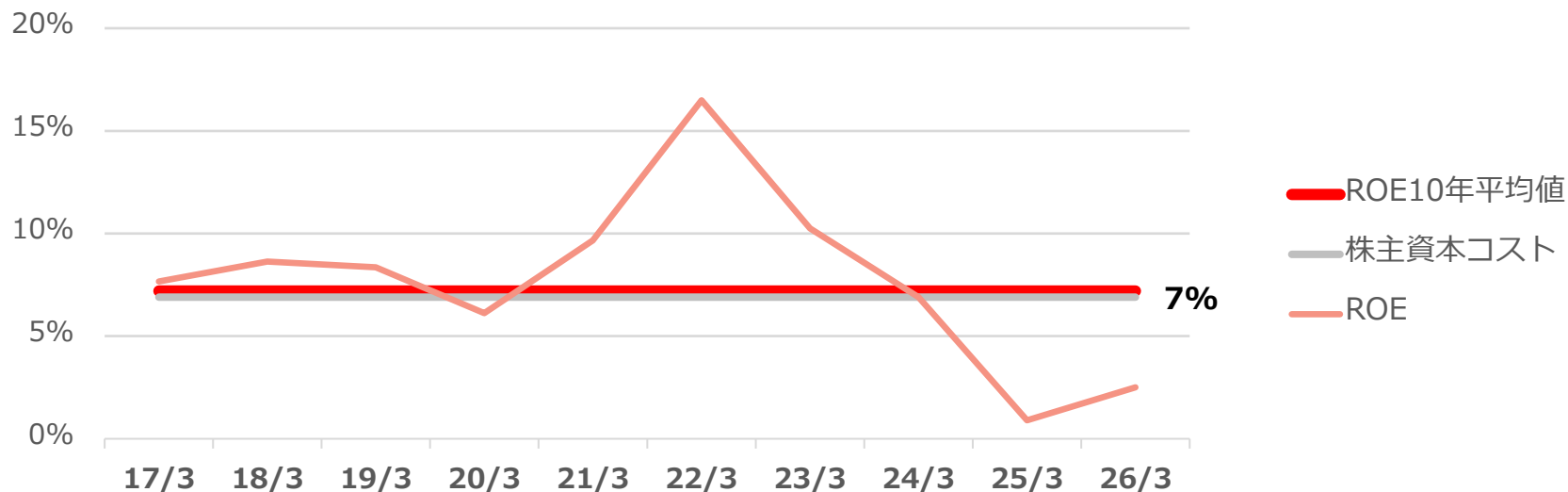
資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2026年5月14日

株式会社 **河合楽器製作所**

- ✓ 自己資本利益率（ROE）は、巣ごもり需要期を除き、株主資本コスト（約7%と推定）を安定的に上回ることができておらず、直近の2期は大きく下回っている。
- ✓ また、当社の株価純資産倍率（PBR）は過去10期のうち8期、1倍を下回っている

ROE・ROE平均値・株主資本コスト

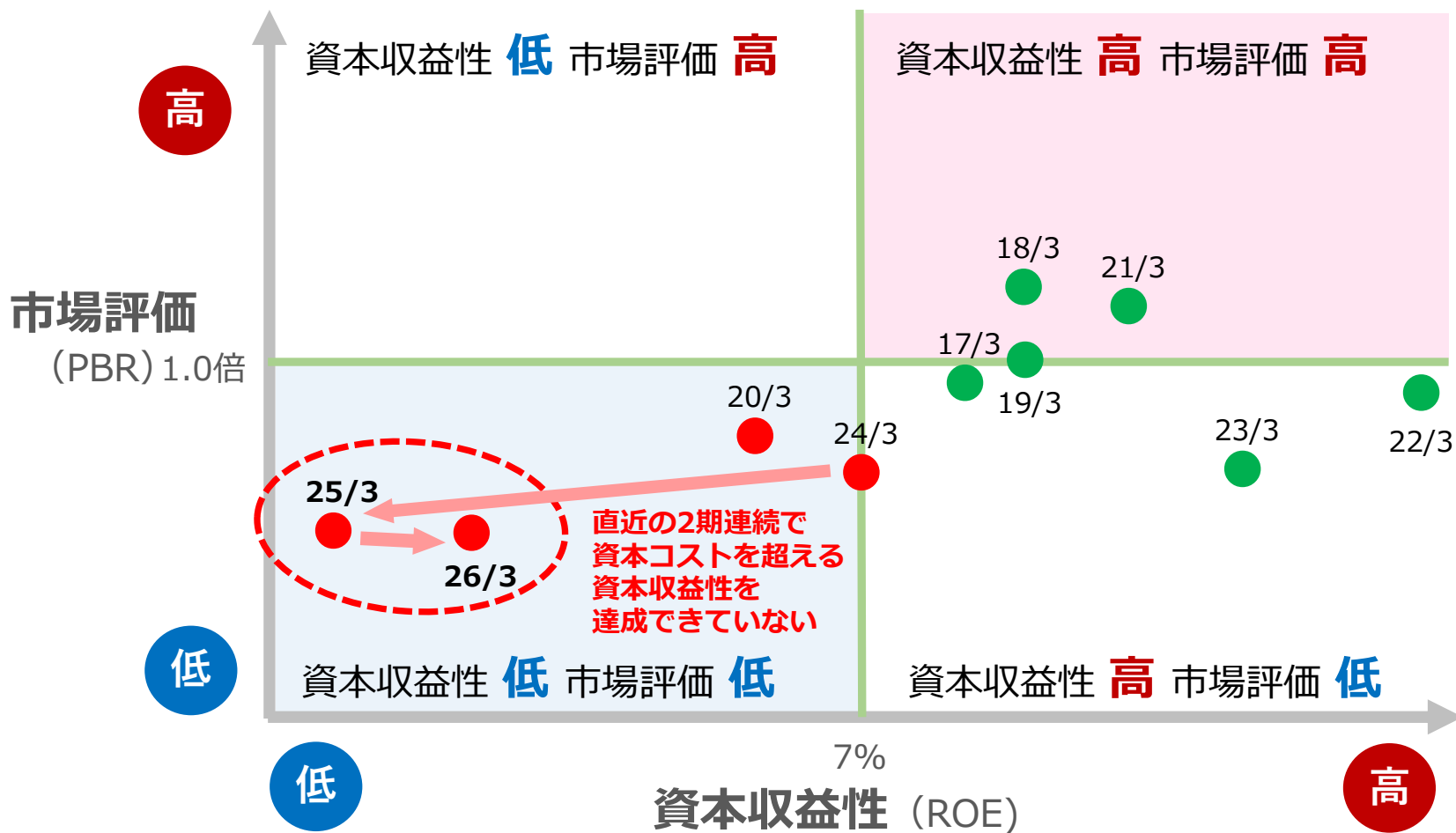


PBR (倍)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
	0.94	1.30	0.99	0.81	1.08	0.84	0.69	0.72	0.55	0.52

当社株主資本コスト (推定)	=	リスクフリーレート	+	β	\times	市場リスクプレミアム	=	約7%
(CAPM)		0.9~1.0%		0.9~1.0		6.0~6.5%		

現状分析（資本収益性と市場評価）

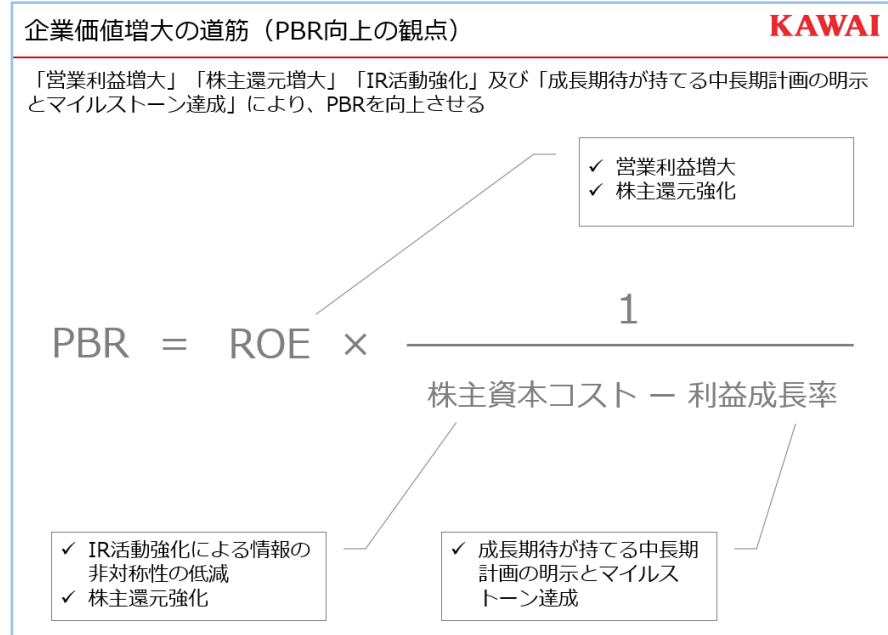
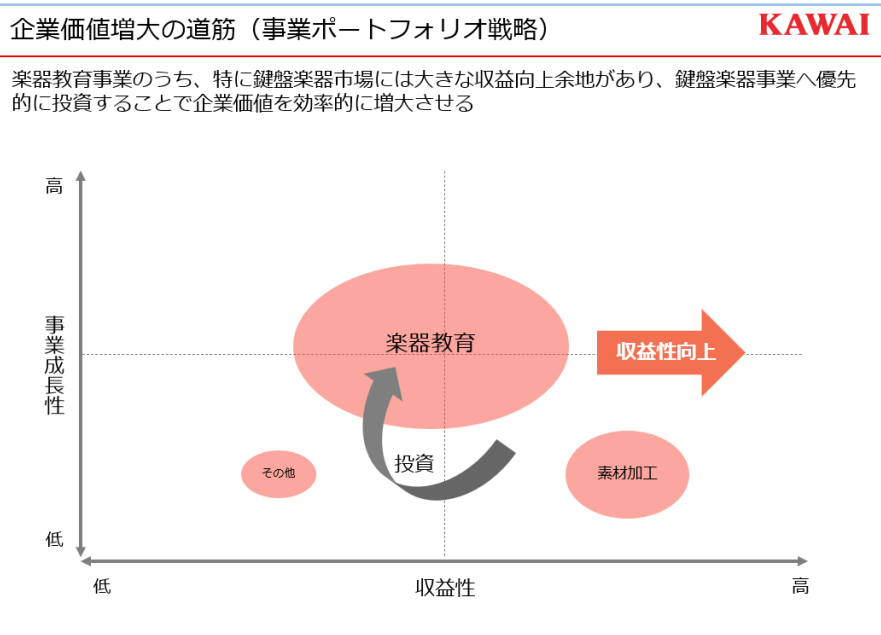
- ✓ 過去10期、資本コストを超える資本収益性を概ね達成してきたが、直近の2期で資本収益性が大きく低下したこともあり、収益性と成長性に対する市場からの評価が低い
- ✓ **収益性の向上と市場からの評価を高めるための対応が急務であると認識**



対応のポイント① 中長期的な経営方針について

- ✓ 2025年4月から2035年3月までの10年間、第8次中期経営計画「KAWAI 十年の計」の取り組みを進めている
- ✓ 「世界一の鍵盤楽器メーカー」になるために、鍵盤楽器事業を大きく成長させる
- ✓ 「営業利益増大」「IR活動強化」「成長期待が持てる中長期的計画の明示とマイルストーンの達成」によりPBR（市場からの評価）向上を目指す

「KAWAI 十年の計」より

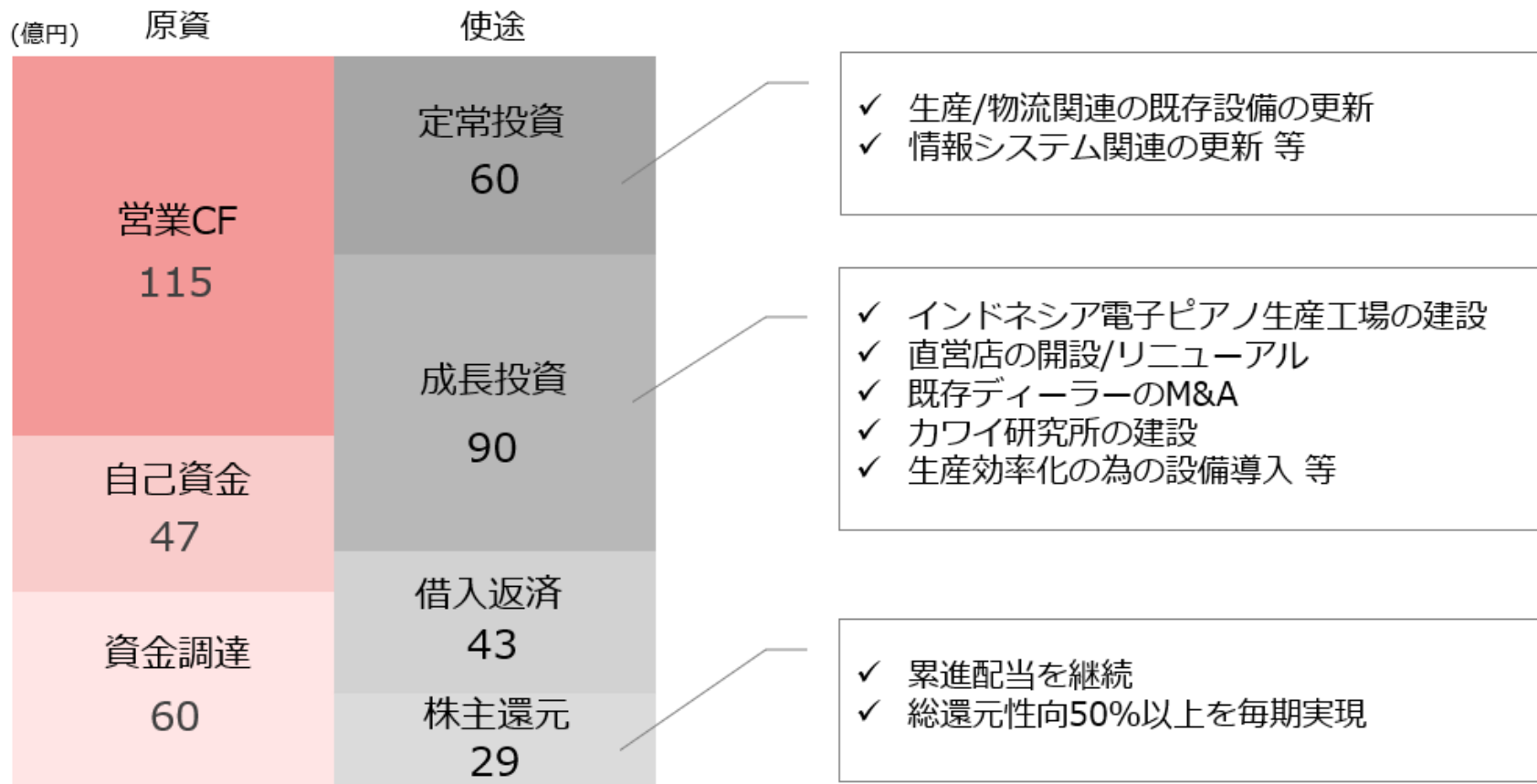


「KAWAI 十年の計」の詳細については、当社ホームページをご覧ください。
https://www2.kawai.co.jp/ir/setsumei_pdf/2025/20250319_2025chukei.pdf

✓ 持続的成長と株主還元を両立させるキャピタルアロケーションを実施する

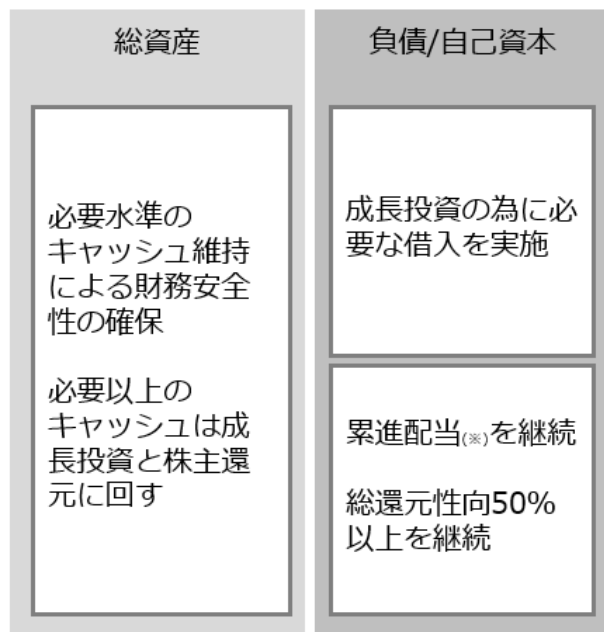
(中期経営計画「KAWAI 十年の計」最初の3年間の計画。4年目以降はその時の状況を鑑みて新たにキャピタルアロケーション計画を策定する)

キャピタルアロケーション計画 (1～3年目累計)



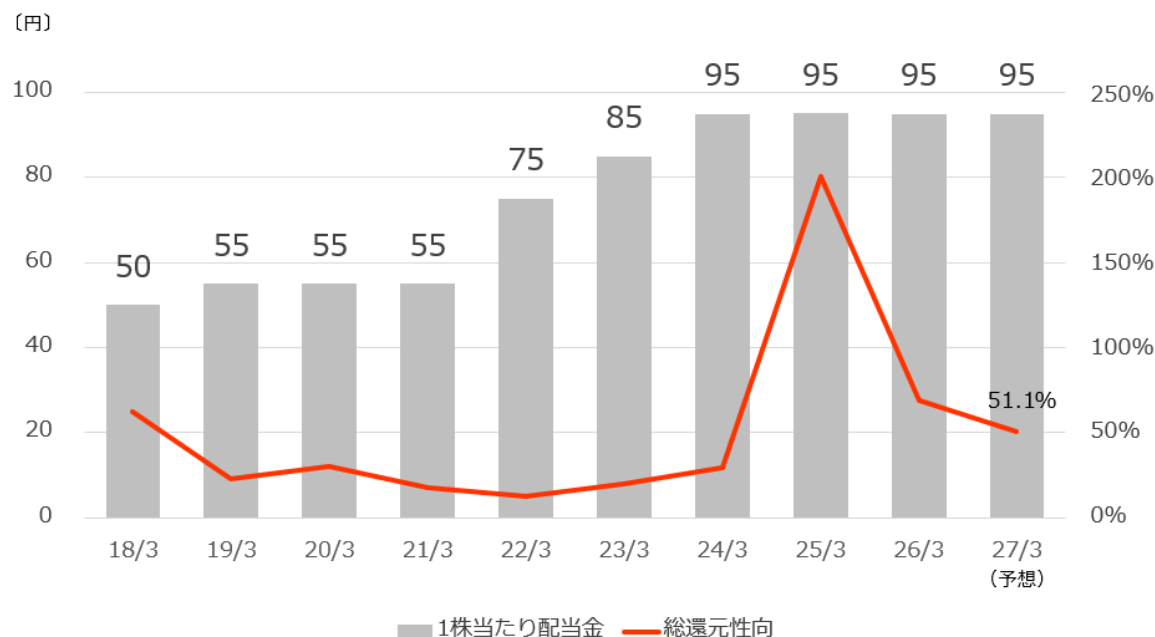
- ✓ 積極的な成長投資と株主還元により、資本効率を継続的に高めることで、「KAWAI 十年の計」**3年目のROEを5.5%、6年目10%、10年目16%に成長させ、持続的な成長を目指す**
- ✓ 保有する資産が企業価値創出のために最適な状態であることを継続的に点検し、改善する
- ✓ **株主還元の強化のため、累進配当と総還元性向50%以上を継続する**

B/Sマネジメント方針



※ 配当金の減配をせずに配当水準を維持、又は利益成長に合わせて増配し続けること

1株当たり配当金・総還元性向



対応のポイント④ 取締役会の取り組みについて

- ✓ 中長期的な企業価値向上の観点から、対応ポイント①②③に関する議論を深めていく
- ✓ **株主・投資家との対話を推進するとともに、対話内容を取締役に報告し、経営に反映**させており、株主・投資家からいただいたご意見に対しては適切な対応を講じ、企業価値の向上に取り組んでいる

いただいたご意見・テーマ	実施した内容
決算説明会資料の充実化	・ 決算説明資料について、企業価値を高めていく明確な意思と計画（当期/翌期/中計）達成のための具体的手段を記載
その他開示資料の充実化	・ スポンサードリサーチ（IR資料）を2025年12月以降新規公開、日本語版と英語版を、四半期毎更新
機関投資家向け工場見学の実施	・ 2026年3月期に、2回開催（6期ぶりの開催）
株主優待の拡充	・ 株主優待の拡充を2026年2月に開示
取締役会の充実化	・ 2027年3月期の取締役会の開催回数を見直し ・ 取締役会メンバーによるマーケット視察も計画

<課題と対策>

課題	対策
収益性の向上と、市場からの評価を高めるための対応が急務	「営業利益増大」「IR活動強化」「成長期待が持てる中長期的計画の明示とマイルストーンの達成」によりPBR（市場からの評価）向上を目指す

■ 営業利益増大

- ・ 「KAWAI 十年の計」の各戦略の着実な遂行

■ IR活動強化

- ・ 機関投資家とのIRミーティング、個人投資家向け会社説明会の継続と、新たな情報媒体を活用したIR情報発信の強化

■ 成長期待が持てる中長期的計画の明示とマイルストーンの達成

- ・ 「KAWAI 十年の計」の進捗状況の開示と、目標・取組みのブラッシュアップ

これらの取り組みを通じ、当社は、株主や投資家の皆様から当社の成長性を適切に評価していただくことを基本的な方針とし、PBR1倍以上を早期に目指してまいります。

KAWAI

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、販売競争の激化、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。